

IVReDリサーチセミナー

統合URA本部 小山 信行

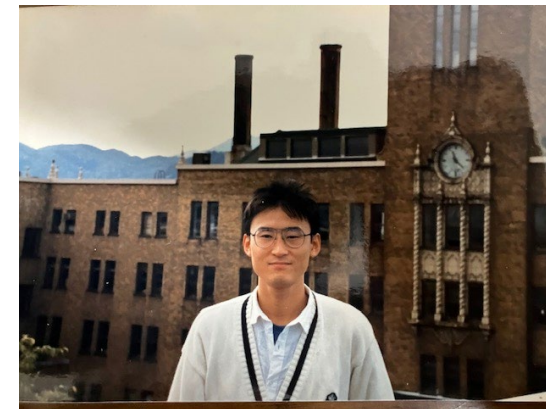
本日本話しさせていただきたいこと：

- 自己紹介
- 基盤研究（生産技術）の知財化と実用化（特許作成など）
- 基礎研究（医薬品候補の探索）から臨床開発
- 本社学術担当者としての業務経験から学んだこと
- 私の抱負

簡単な自己紹介

小山 信行（こやま のぶゆき）

特任教授（統合URA本部・戦略企画部門長・IVReD 拠点長補佐）



就職で札幌を去る前日

学歴：北海道大学農学部農芸化学科卒業（放線菌の遺伝学的解析）：1987年卒

同大学大学院農学研究科博士前期課程修了（同上テーマ）：1989年修了、[北海道札幌市](#)

京都大学大学院薬学研究科 博士の学位取得（**遺伝子組み換え産物の調製法**）：2005年5月

職歴： 武田薬品工業 研究開発本部 [大阪十三～つくば～大阪十三～湘南](#) 主席研究員・主席部員
同社 グローバル本社 [東京都中央区日本橋](#)

北海道大学 統合URA本部・外部資金部門 学術専門職～戦略企画部門長 特任教授 [北海道札幌市](#)

* これまで参画した共同研究（GSK&米国セララ社、大阪大学医学部、ウィスコンシン大学、
東京都医学総合研究所、理研脳神経科学センター等）



札幌に戻った時

私の職歴

	武田薬品工業				北海道大学
北海道大学→	発酵生産物研究所 1989～1996	開拓研究所 1996～2005	創薬研究所 2005～2013	グローバル本社 2013～2023	URA 2023～現在
主な業務	基盤研究 (生理活性物質の探索と調製)	基礎研究 (ゲノムPJなど)	開発研究 (中枢治療薬の創製)	ロンチエクセレンス (がん治療薬のロンチ)	URA活動 (pre-award)
主な専門性	<u>新しい技術開発</u> - 分子生物学 - 生化学 - 有機合成化学 - 製造管理 - 品質管理 - 学術論文・特許	<u>新しいシーズの発掘</u> - 分子生物学 - 生化学 - Bioinformatics - 循環器の薬理 - 中枢の薬理 - スクリーニング - 共同研究 - 学術論文・特許	<u>創薬</u> - 中枢治療薬の創製 - ステージアップ - グローバルチームを牽引 - 臨床試験の計画と実施 - 共同研究 - INDの作成 - 学術論文・特許	<u>育薬</u> - マーケティング - プロモーション戦略 - 市場調査 - 医療施設でのヒアリング - MA活動支援 - MR教育 - 医療従事者を対象とした講演会 - グローバル展開	<u>研究戦略</u> - IR分析 - ニーズ探索 - 戦略企画 - 研究費獲得支援
主な学び	- 働く意義 - 責任を果たす意義 - 協働する意義 - 成功体験 - 組織人としての自覚 - GLPとGMPの重要性	- 企業における研究 - スクリーニングの楽しさ - 米国のやり方 - 特許戦略の重要性	- PJ管理 - データパッケージの意義 - INDの作成と格納 - グローバルチームの運営 - 臨床試験 - Decision	- ビジネスの本質 - 成長戦略 - プロモーションコード - コンプライアンス - セールス戦略とガバナンス - 製品のライフサイクル - ビジネススキル	- 企業との違い - 北大の現状 - 自由の捉え方 - 待遇の課題 - TLO活動の重要性 - 拠点形成

私の抱負

- 北海道大学の研究資源の価値を高める（積極的な成果のアピール）
- IVReDの発展に貢献する
- **研究成果の社会への還元（北海道の活性化からグローバル展開）**
- 投資価値の創成（科研費、JST、AMED、共同研究など）
- 外部評価の向上（大学ランキングなど）
- **確かな人材の輩出（社会で人財と呼ばれるように）**
- 受験生にとって魅力ある大学・大学院

座右の銘；

前後を切断せよ、**みだりに過去に執着するなかれ、いたずらに**
将来に未来を属するなかれ、**満身の力を込めて現在に働け**